

スマート農業技術の開発・改良事業 予算別公募対象技術一覧

予算項目	令和5年度補正「戦略的スマート農業技術の開発・改良」公募対象技術			令和6年度当初「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」公募対象技術（予定）		
公募期間	令和6年1月18日～2月15日（公募中）			令和6年度に公募開始予定		
メニュー 品目	開発	改良	栽培体系 ※開発または改良とセットでのみ提案可	開発 ※栽培体系とセットでの提案必須	改良 ※栽培体系とセットでの提案必須	栽培体系 ※開発または改良とセットでの提案必須
露地野菜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動収穫に資する高精度な定植機等の開発</li> <li>○全自動収穫に資する作物の生育均一化のための適期作業診断システムの開発（ドローンや衛星情報によるセンシング等）</li> <li>○収穫物自動運搬システムの開発（重量野菜等）</li> <li>○外観・品質等に基づく高度な自動選果システムの開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動収穫に資する高精度な定植機等の改良</li> <li>○中山間地や狭隘な圃場に最適した自動収穫機への改良（小型化等）</li> <li>○汎用型台車ロボットの改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○圃場の均平化やスマート農機の旋回スペースを確保した圃場整備</li> <li>○自動収穫に適した栽培体系（生育均一化・必要な資材開発等）の構築および品種の選定</li> <li>○自動運搬等に最適した圃場整備および選果場のルート整備</li> <li>○選果・調整作業の自動化を可能とする栽培技術の開発および品種の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動収穫機の開発（レタス、かぼちゃ等）</li> <li>○選果・調整・加工ラインへの搬入・装填や、箱詰め等の自動化（たまねぎ、ブロッコリー、だいこん等）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○圃場の均平化やスマート農機の旋回スペースを確保した圃場整備</li> <li>○自動収穫に適した栽培体系（生育均一化・必要な資材開発等）の構築および品種の選定</li> <li>○選果・調整作業の自動化を可能とする栽培技術の開発および品種の選定</li> </ul>
施設園芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バック詰めロボットの開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AI選果機の改良（対応品目の拡大）</li> <li>○バック詰めロボットの改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○硬実等機械作業性の高い品種の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動収穫ロボットの開発</li> <li>○芽かき、整枝、剪定等の管理作業の自動化技術の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動収穫ロボットの改良（収穫率の向上、対応品目の拡大、夜間や人工照明下等適応条件の多角化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○果梗が長い等機械収穫適性が高く、草姿管理が容易な品種の選定</li> <li>○機械作業を前提とした畝間の設定・レールの敷設等機械化に対応したハウスの整備</li> </ul>
果樹・茶	<ul style="list-style-type: none"> <li>○袋がけロボットの開発（なし・ぶどう等）</li> <li>○自動授粉機の開発</li> <li>○剪定・誘引等の熟練作業の伝承システムの開発（スマートグラス等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動選果ロボットの改良（りんご・なし等）</li> <li>○汎用型台車ロボットの改良（傾斜地等への対応等）</li> <li>○自動授粉機の改良</li> <li>○果樹・茶に適した防除（ドローン防除等）・除草技術の改良</li> <li>○茶の被覆作業自動化技術の改良</li> <li>○剪定・誘引等の熟練作業の伝承システムの改良（スマートグラス等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収穫や管理作業の機械化・自動化に適した樹形の開発・転換、品種の選定</li> <li>○授粉が容易、摘採適期が長い（茶）等の品種の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○摘蕾・摘果ロボットの開発</li> <li>○自動収穫ロボットの開発（かんきつ等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動収穫ロボットの改良（りんご・なし等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○摘蕾・摘果作業が少ない等の品種の選定</li> <li>○収穫や管理作業の機械化・自動化に適した樹形の開発・転換、品種の選定</li> <li>○機械の導入を可能とする圃地整備（圃内道の整備や植栽間隔の拡大）</li> </ul>
土地利用型作物	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理作業機等の自動化技術の開発（大豆等）</li> <li>○牧草の集約、乾燥からロール作業にいたる作業の運動技術の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○排水対策や除草作業等の圃場管理技術の効率化・高度化</li> <li>○農業散布用ドローンの長時間・連続自動航行等を可能とする改良</li> <li>○コンバインと運動できる搬出・運搬トラックへの改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械収穫に適した品種の選定</li> <li>○作期の拡大につながる早晩性等を活用した品種の選定</li> <li>○大区画化や出入り口の確保等、スマート農機の効率を高めるための圃場整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効率的な除草技術（株間除草ロボット・ピンポイント除草剤散布等）の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効率的な除草技術（株間除草ロボット・ピンポイント除草剤散布等）の改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大区画化や出入り口の確保等、スマート農機の効率を高めるための圃場整備</li> </ul>
畜産	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発情・疾病検知（画像センシング）技術の開発</li> <li>○搾乳ロボットや牛群検定データ等を活用した生産性向上技術の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生体モニタリング機の非接触型等への改良</li> <li>○畜舎内の衛生確保技術の改良</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○柱等の障害物を取り除きカメラでの撮影精度が高くなるような畜舎への改良</li> <li>○清掃ロボットの動線が確保しやすい畜舎への改良</li> <li>○搾乳ロボットに合わせた牛の飼養管理技術の開発</li> </ul>			
共通		<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存機器を対象とした低廉化への改良</li> </ul>				
留意事項	<p>令和6年度当初予算事業「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」については、令和6年度に別途、公募を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公募対象技術課題は上の表を予定しています。</li> <li>○「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」では、①生産者、②技術の社会実装を担う民間企業、③高度な研究開発ができる設備・人員を有する機関、④研究対象とするスマート農業技術を導入し、栽培体系を実地レベルで開発・改良できる圃場を有する機関等について、参画必須とする予定です。</li> <li>○公募内容の詳細は、公募開始時にお知らせします。</li> <li>○公募開始時の状況により、一部変更となる場合があります。</li> </ul>					